

水野源左衛門

源左衛門は、瀬戸（愛知県瀬戸市）に生まれました。1645年に会津藩主の保科正之にめしかかえられて会津にやってきました。源左衛門は、観音山によい陶土をみつけ、陶器を焼き始めました。それが、会津本郷焼のはじまりです。



佐藤伊兵衛

伊兵衛は、もとは陶器をつくる職人でした。しかし、白い焼き物をつくりたいと思っていた伊兵衛は、有田（佐賀県）、京都、尾張（愛知県）などで白い焼き物のつくり方を学びました。そして、会津にもどり、会津本郷焼の白磁を完成させました。



みんなは、会津本郷焼の学習を通して、福島県には、昔から続いているすばらしい産業があることをほこりに思いました。

まなび方コーナー

まとめる

福島県のお知らせガイドブックのつくり方

- ① これまで調べたことのまとめを持ちよる。
- ② 地図や写真、イラスト、グラフなどを入れて、見てわかりやすくなっているかをたしかめる。（しりょうのまる写しにならないようにする）
- ③ 調べたことを白地図に整理する。
- ④ ガイドブックにのせる順番を決める。



4

県とわたしたちのまちの発てん

県内の地いきの広がりには、どのようなとく色があるのでしょうか。

さまざまなく色をもつ福島県

みんなはこれまで調べてきたことをガイドブックにまとめ、ひろしさんに送ることにしました。知らせたいことがきちんと調べてあるかをたしかめるために、白地図に整理しました。



「それぞれの地いきでは、その土地や気候のとく色を生かした産業がさかんだったね。」



「それ以外に、交通も関係があると思うよ。」